

2017年度 第25回知財コンサルティングセンター(PCIP)会員セミナー

【テーマ】 一級知的財産管理技能士の取得で広がる技術士の活躍の世界”
～知財検定1級への挑戦で見えてくる世界とは？～

【講師】 知財経営研究社 代表 松平竹央氏

【講師プロフィール】

松平竹央(まつだいらたけおう)

知財経営研究社 代表

中小企業診断士、一級知的財産管理技能士。

前職の大手電機メーカーにて、マーケティング、国際標準化、研究開発、知的財産戦略業務等に従事した後、2009年に独立。

国家検定「知的財産管理技能検定1級」の試験教材を制作・販売している数少ない事業者。

経営支援事業として、中小企業やベンチャー企業の新製品・新事業開発、資金調達、産学連携による共同研究、知的財産戦略の策定・実践の支援等を実施。

NPO法人産学連携学会 理事、 (株)AKT研究所 取締役COO

【開催日時】 2017年12月5日(火) 講演会 18:30～20:00、懇親会 20:00～21:00

【場所】 (公社)日本技術士会 A, B 会議室(葺手第2ビル5階)

【概要】

知財経営研究社では、主に経営支援事業と出版事業(「国家検定 知財検定1級 合格マニュアル」の制作・販売)の2つの事業を行っている。

今回の研究会では、①講師自身が中小企業診断士としての活動の幅を広げるために「一級知的財産管理技能士」という資格をどう活用しているか、②中小企業に対する知的財産戦略の支援、産学連携による事業開発の支援への取組み、③ 知財検定1級に合格するための勉強方法の3点について紹介した。技術士としてご活躍されている皆さまご自身の活動の幅を広げるためのヒントとなっている。なお、「知財検定1級合格マニュアル」の実物を持参し紹介した。

【講演内容】

- (1) 私が中小企業診断士に加えて、“1級知的財産管理技能士”をどう活かしているか
知財人材データベース(経産省)、MTEPの専門相談員(横浜市工業技術支援センター)、
知財経営研究社のミッション、他の診断士と差別化するためのポジショニング、
- (2) どのように知財戦略をお伝えしているか
経営診断・経営戦略立案プロセス、中小企業にとっての知財活動の意義、現状分析と戦略立案の手法
- (3) 私自身の取組み(知財・産学連携)
知的財産に関する支援制度の概要、東京商工会議所／ビジネスサポートデスク、各種支援事例
- (4) 知財検定1級試験とその合格方法
知的財産管理技能検定1級試験体系、知財検定1級学科試験の試験範囲、合格率(特許専門業務)、
1級学科試験の特徴、合格への推進力はヤル気の2段ロケット

【セミナー風景】



PCIP会員8名、技術士会会員5名、一般4名、計17名の参加がありました。